

リハビリテーション機能（回復期）評価項目

新旧対照表

項目番号	修正前（2011.4版）	修正後（2011.5版）	事由
Rh. 2. 1. 1 リハビリテーション提供のための組織図があり管理責任者が明確になっている	①実態に即したリハビリテーション部門の組織図を作成している	① <u>リハビリテーション部門や回復期リハビリテーション病棟を含む組織図を実態に即した内容で作成している</u>	評価の意図を伝えるため。
Rh. 2. 1. 4 患者の生活時間に適したリハビリテーションを実施するために組織的に対応している	③医師不在時の対応体制が整備されている	<u>削除</u>	「②365 日リハビリテーションの実施に向けた体制が整備されている」で含めて評価する。
Rh. 2. 1. 5 リハビリテーションに必要な補装具を提供するための仕組みがある	③装具の修理 <u>作成</u> を行う仕組みがある	③装具の修理 <u>調整</u> を行う仕組みがある	用語の見直しによる。
Rh. 5. 5. 1 リハビリテーションのための看護・介護計画を作成している	①日常生活活動の実行状況を定期的に評価するとともに、 <u>多</u> 職種からの情報を参考にしながら計画している	①日常生活活動の実行状況を定期的に評価するとともに、 <u>他</u> 職種からの情報を参考にしながら計画している	誤字による。
Rh. 5. 5. 2 回復期リハビリテーション病棟における安全・安心な看護・介護を実践している	①転倒・転落、褥瘡、無断離院などのリスクの程度を定期的に評価し、 <u>多</u> 職種とも情報共有している	①転倒・転落、褥瘡、無断離院などのリスクの程度を定期的に評価し、 <u>他</u> 職種 <u>と</u> 情報共有している	誤字による。